

年度より導入しているponseti法に準じて局所麻酔下アキレス腱皮下切腱術を施行しています。その他近年増加している手術は、腫瘍性疾患（19件）、成長期スポーツ障害に対する鏡視下手術（13件）です。先天性股関節脱臼は地域での健診で指摘され来院する新鮮完全脱臼例は年間25例で、その中で保存・装具治療では整復できない例や陳旧脱臼例の手術例は年間約10件、遺残亜脱臼に対する骨盤骨切り術や大腿骨内反骨切り術なども年間約10件であります。

新しい試みとして平成22年度に開始した、脳性麻痺患児の痙性尖足、斜頸、に対するボツリヌス注射も月2回に施注機会を増加させ対応しています。

装具診

週1回、整形外科医、リハビリテーション科医、理学療法士、義肢装具士が連携して患児を個別に十分検討して、装具などの処方、作成までを一貫して行っています。また月に1回は、seating clinicを開設し、複数の専門業者と協力して車椅子、座位保持装置などの作成を行っています。整形外科医、リハビリテーション科医、理学療法士が時間を割いて個別の症例について検討する機会となっており、装具療法の限界の患児についての手術適応についても話し合いを行っています。

手術種類内訳（図1）

手術件数 237件（平成23年度）

5 特色

養護学校が併設されており、学童期の治療期間が長くなる疾患、ペルテス病、大腿骨頭すべり症を含む下肢の骨折などの症例では勉強しながら治療を行います。下肢骨延長矯正手術も近年増加しています。さらに、整形外科だけでなく、すべての科を揃えてある小児の総合医療施設であり、1患者1カ所なので他科の情報も得られ、個人の総合的な治療が行えます。

6 整形外科スタッフ

平良勝章（医長・成長期スポーツ、関節鏡手術、股関節外科）

根本菜穂（医長・手外科、足の外科）ら常勤医3人体制。

非常勤医師：**長尾聡哉**（手外科専門診）

町田正文（側弯症専門診）

7 その他

外来診療

受付＝（予約制）

火曜日午前9-12時

木曜日午前9-12時

金曜日午前9-12時

平良勝章＝火、木、金

根本菜穂＝火、木

セカンドオピニオン＝（予約制）

適宜午後行っています。

（病院への問い合わせをお願いします。）

（平良勝章）

| 概 要 | |
|---------|--|
| 名 称 | 埼玉県立小児医療センター |
| 所 在 地 | 埼玉県さいたま市岩槻区大字馬込2100番地 |
| 病 院 長 | 中村 謙 |
| 開 院 | 昭和58年4月 |
| 病 床 数 | 一般300床(NICU15床、CCU4床、ICU8床、無菌室2床) |
| 診 療 科 目 | 小児科（未熟児新生児科・代謝内分泌科・腎臓科・感染免疫科・血液腫瘍科・遺伝科・総合診療科）・アレルギー科・循環器科・神経科・精神科・小児外科・心臓血管外科・脳神経外科・整形外科・形成外科・泌尿器科・耳鼻咽喉科・眼科・皮膚科・麻酔科・放射線科・リハビリテーション科・小児歯科 |
| 指 定 等 | 地域医療支援病院名称承認 ：平成10年10月 臨床研修病院指定 ：平成13年3月 |
| 敷 地 面 積 | 72,541 m ² |
| 構 造 | 鉄筋コンクリート4階建てほか 延べ面積 26,692 m ² |
| 職 員 数 | 548名（平成24年4月1日） |